

Multifunction Analyzer リリースノート

2017年 6月 27日

株式会社 Sohwa & Sophia Technologies

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このリリースノートには、下記製品に関するアップデート情報を記載しております。

製品番号	製品名	最新バージョン
MA0001	Multifunction Analyzer	1.9 (ビルド 2017/6/23)

[注意事項]

- ・ 本製品はインストール時に SSS ナンバーと SSS キー入力の間い合わせがあります。本製品に同梱されていますソフィア・サポート・サービス (SSS) 登録証に記載されています SSS ナンバーと SSS キーを入力してください。

Version 1.9 (ビルド 2017/6/23)

- (1) Windows 10 (32ビット版、64ビット版)に対応しました。
- (2) Windows 8.1 (32ビット版、64ビット版)に対応しました。

Version 1.8 (ビルド 2015/10/05)

- (1) ファームウェアを更新してヒューマンインターフェースデバイスとして接続するようにしました。
デバイスマネージャーでは「ヒューマンインターフェースデバイス」の下に「USB入力デバイス」と「HID準拠デバイス」として表示されます。

Version 1.7 (ビルド 2014/6/23)

- (1) 波形観測ウィンドウのモニタ下部にステータス部を追加しました。
- (2) アプリケーションを複数起動できるようにし、それぞれ別な本体に接続できるようにしました。
- (3) 一度も計測せずにロジックアナライザの波形データを読み込んだ後に波形をスクロールできない不具合を修正しました。
- (4) 自動報告書作成時にロジックアナライザのサンプリングデータをCSV形式で出力できるようにしました。
- (5) ネットワークで本体と接続したときに「バージョン情報・デバイス情報」ダイアログボックスでデバイス情報表示が崩れる不具合を修正しました。
- (6) ヘルプにパターンジェネレータの有効なデータレートと各単位での入力可能範囲を追加しました。また、無効な値入力時の動作の説明を修正しました。

Version 1.6 (ビルド 2014/4/29)

(11)項、(12)項の変更を反映するには、インストール後に表示メニューの「ツールバー」->「カスタマイズ」からカスタマイズダイアログを開き、「メニュー」タブの「アプリケーションフレーム メニュー」にて、メニュー表示を一度リセットして頂く必要があります。
その際、カスタマイズ設定されていた内容もリセットされてしまう事をご了承下さい。

- (1) デジタル波形のLowレベルを太く表示するようにしました。
- (2) Windowsのテキストサイズを規定から変更すると、画面が正しく表示されない不具合を修正しました。
- (3) 簡易電源を使用していない状態で、自動報告書機能で停止操作を行うと、本体と切断できない不具合を修正しました。
- (4) バージョン情報・デバイス情報ダイアログに、本体の保守期限も表示するようにしました。
- (5) 波形観測設定ウィンドウの内部トリガ設定欄に於いて、タブキーで移動するコントロールの順番を修正しました。
- (6) ヘルプファイルに波形観測ウィンドウのMATHボタンの説明を追記しました。
- (7) 波形観測ウィンドウのモニタ部以外では、コンテキストメニューが表示されないようにしました。
- (8) 波形観測ウィンドウのモニタ部で表示されるコンテキストメニューに、「クリップボードにコピー」を追加しました。
- (9) 波形観測ウィンドウのモニタ部は拡大しないようにしました。
- (10) デジタルマルチメータを使用中にアプリケーションを終了すると、本体のDMM LEDが消灯しない不具合を修正しました。
- (11) ヘルプメニューにある「バージョン情報・デバイス情報MultifunctionAnalyzer」の項目名から「MultifunctionAnalyzer」の表記を削除しました。
- (12) ファイルメニューの「エクスポート」にある以下の項目名を変更しました。
 - (ア) 「CSV」→「ロジックアナライザデータ->CSV」
 - (イ) 「PNG」→「波形観測ウィンドウ>PNG」
- (13) ライセンスチェック時、保守期限が過ぎるとメッセージを表示しないようにしました。
- (14) その他、細かな修正を行いました。

Version 1.5 (ビルド 2014/2/17)

- (1) パターンジェネレータに最終出力データを保持する機能を追加しました。

Version 1.4 (ビルド 2014/2/12)

- (1) 波形観測設定で内部トリガのパターンをコンボボックスの履歴から指定したときに設定が有効にならない不具合を修正しました。
- (2) メニューバーの項目をすべて表示するようにしました。
- (3) 波形観測の補間機能を削除しました。
- (4) デジタルマルチメータで抵抗値計測時のプラス記号表示を削除しました。
- (5) デジタルマルチメータで確度補償範囲外の値は「OVER」と表示するようにしました。
- (6) ヘルプでパターンジェネレータのデータレートの最大値を10msec に修正しました。
- (7) 自動報告書作成で波形観測停止コマンドまたは全停止コマンドを実行した後に波形観測

開始コマンドを実行すると「計測を開始できませんでした。:装置が動作中です。」とメッセージを表示して停止してしまうことがある不具合を修正しました。

Version 1.3 (ビルド 2013/12/2)

- (1) アプリケーションを起動して、本体を接続し電源を入れた時に「エラーが特定できません」というメッセージが表示され本体に接続できない不具合を修正しました。

Version 1.2 (ビルド 2013/5/9)

- (1) 波形観測での強制停止の動作を変更しました。シングルモードとノーマルモードではトリガが発生しない限り停止操作では画面が更新されません。オートモードのときには波形が描画されていない場合に強制トリガで画面が更新されます。
- (2) 波形観測停止時に水平レンジを変更してもステータス部の V カーソル関連の情報が更新されない不具合を修正しました。
- (3) ロジックアナライザのバス表示で最後の変化が表示されない不具合を修正しました。
- (4) 波形観測設定ファイルを読み込んだ時に水平レンジとトリガ位置が保存したときと違うことがある不具合を修正しました。
- (5) 波形観測のノーマルモードで観測中に水平レンジを変更した後、一度だけ画面が更新されない不具合を修正しました。
- (6) ステータス部の V カーソル間の周波数表示で1以下の場合や1000以上の場合は単位を調整するようにしました。
- (7) 自動報告書作成ウィンドウで手順を削除するとその次の手順が1番目に移動する不具合を修正しました。
- (8) ファンクションジェネレータで出力波形を変更するとデューティ比が逆になる不具合を修正しました。
- (9) インストーラで使用する言語を選択できるようにしました。カスタマイズしたメニューやツールバーが消えたり、言語が切り替わらなかつたりすることがあります。

Version 1.1 (ビルド 2013/4/8)

- (1) 波形観測設定のトリガレベルを±4divに制限しました。
- (2) 波形観測設定のトリガレベルの誤差範囲が最小設定に収まるようにしました。最小単位は Probe ATT: x10、0.5v/div の時が 0.1v でそれ以外はVレンジの1/10です。
- (3) 波形観測設定のトリガパルス幅の上限を 16384 サンプルに制限しました。
- (4) トリガをパルス幅としていたとき、波形観測設定の水平レンジを操作してパルス幅が限界値を超えた時にはメッセージを表示するようにしました。
- (5) 波形観測設定の水平レンジを操作したときにトリガをパルス幅としていた場合、正しいパルス幅の値を表示しない不具合を修正しました。
- (6) 垂直レンジ変更後、本体に変更が反映されていることを確認してから描画処理を行うようにしました。
- (7) 波形観測ウィンドウのチャンネル設定ダイアログの表示リスト側で単線の後にバス線が表示されるようにしました。
- (8) 波形観測ウィンドウで水平・垂直スクロールバーが表示された時にスクロールしても表示さ

れない部分がある不具合を修正しました。

- (9) 波形観測ウィンドウを一度閉じて再度開いた時に水平レンジとHカーソル設定、上操作部の表示状態(選択タブと表示状態)、ポストトリガの位置、ステータス表示部(表示項目とウィンドウの状態)を復元するようにしました。
- (10) 信号観測後、波形観測設定ウィンドウでトリガ条件を変更し、タブをクリックして波形観測ウィンドウに切り替えたときに表示されるメッセージボックスを閉じるとウィンドウがドラッグ状態になる不具合を修正しました。
- (11) 波形観測ウィンドウをリサイズした時に上操作部の内容が消える不具合を修正しました。
- (12) 波形観測ウィンドウのエディットボックスへの入力をEnterで確定するようにしました。
- (13) トリガレベル入力欄が空欄でフォーカスが外れた場合、元の値に戻らない不具合を修正しました。
- (14) パターンジェネレータウィンドウのデータ数とデータレートをEnterで確定するようにしました。
- (15) パターンジェネレータの出力データのサンプルを追加しました。
- (16) 簡易電源でCH1とCH2で+20V、CH3で-20Vを超えた値を入力したときに元の値になるようにしました。
- (17) デジタルマルチメータの設定コピー時に電圧レンジの単位を大文字の「V」に変更しました。
- (18) デジタルマルチメータでAutoモード設定時に電圧レンジと抵抗レンジを手動で変更した場合、Autoモードを解除するようにしました。
- (19) デジタルマルチメータでAutoモード設定時に電圧レンジと抵抗レンジのラジオボタンが変化しない不具合を修正しました。
- (20) 自動報告書ウィンドウを再表示したときにスクロールバーが表示されない不具合を修正しました。
- (21) 自動報告書ウィンドウで修正しウィンドウを閉じた時に保存しなかった場合、再表示して閉じた時に保存するかどうか尋ねるようにしました。
- (22) メニューからヘルプを開いた時にヘルプが常にメインウィンドウの上に表示される不具合を修正しました。
- (23) 波形観測ウィンドウのコンテキストメニューにカスタマイズで追加したコマンドが動作しない不具合を修正しました。
- (24) 自動報告書ウィンドウのキーボードアクセラレータをカスタマイズできないようにしました。
- (25) メインウィンドウの各ウィンドウのコンテキストメニューをカスタマイズできるようにしました。

Version 1.0 (ビルド 2013/3/11)

- (1) ホストPCがUSB1.1仕様の場合、Multifunction Analyzerの認識が正しく出来ない不具合を修正しました。

Version 1.0 (ビルド 2013/3/5)

- (1) 波形観測設定ウィンドウを「タブ付きドキュメント」または「フローティング」等にした場合、背面の表示内容が重なって表示される不具合を修正しました。
- (2) ログファイルを開く外部アプリケーション指定時、ファイルパスが正しく送られず ma.logが

開かない不具合を修正しました。

- (3) 波形観測設定ファイルを読み込んだ際、REFボタン操作で非表示状態にならない場合がある不具合を修正しました。
- (4) リファレンスメモリ(REF)を表示状態にしても最後に保存した波形データが表示されない不具合を修正しました。
- (5) アプリ起動直後、リファレンスメモリ(REF1、REF2)にデータが読み込まれていない状態で、DSO波形データをREF1に読み込むとREF2に空データが読み込まれる不具合を修正しました。
- (6) 印刷時、「波形観測及びその他機能のステータス」を選択しても、その他機能のステータスが印刷されない不具合を修正しました。

Version 1.0 (ビルド 2013/2/26)

新規リリース

以上